

令和8年度 シラバス

科目		単位数	学年				
現代の国語		2	1				
教科書番号・教科書名			副教材				
183第一 現国713・高等学校現代の国語			カラー版新国語便覧(第一学習社)				
学習の目標		<ul style="list-style-type: none"> ・実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。 ・論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 ・言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。 					
評価の方法		①知識・技能 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けているとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めている。 (定期考査/小テスト)	② 思考・判断・表現 「読むこと」「書くこと」「話すこと」「聞くこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。 (定期考査【書く、読む】発表・作品などの表現活動【話す・聞く】レポート【書く】)	③ 主体的に学習に取り組む態度 言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしている。 (ノート、レポート、課題などの記述内容/各種テストの取り組み状況/授業中の発言や行動の様子/自己評価や相互評価)			
学習計画及び評価方法							
学期	月	単元名	項目	学習活動と評価のポイント	評価方法		
					①	②	③
第1学期	4	理解編 一思考力、判断力を培う1	『生きもの』として生きる 中村桂子	<ul style="list-style-type: none"> ・筆者の提案する人間の生き方について、文章構成をもとに把握し、自分に照らして考えを深める。 ・主張と論拠、個別と一般化、推論など、情報と情報との関係を理解する。 	○	○	
	5	理解編 一思考力、判断力を培う1	『本当の自分』幻想 平野啓一郎	<ul style="list-style-type: none"> ・主張と論拠、推論の仕方など、情報の扱い方について理解する。 ・自己と他者に関する筆者の主張に説得力を持たせるための論の展開について考える。 		○	○
	6	理解編 一思考力、判断力を培う2	「水の東西」 山崎正和	<ul style="list-style-type: none"> ・東西の対比関係を用いながら、日本の水文化に見られる特徴について論じる叙述の方法を把握する。 ・情報と情報を対比させながら展開する評論を粘り強く読み、学習課題に沿って論理の展開を分析しようとしている。 	○	○	
	7	表現編一伝える力を培う 話して伝える	話し方の工夫	<ul style="list-style-type: none"> ・積極的に伝わりやすい表現を考え、学習課題に沿って説明や発表をしようとしている。 			○
第2学期	9	理解編 一思考力、判断力を培う2	「ものごとことば」 鈴木孝夫	<ul style="list-style-type: none"> ・具体(例示)と抽象(意見)の関係を整理して論理構成を把握し、筆者が主張する言語の性質について要約文を書く。 ・主張と論拠、個別の情報と一般化された情報、推論の仕方など、情報の扱い方について理解している。 	○	○	
	10	理解編 一思考力、判断力を培う3	『文化』としての科学 池内了	<ul style="list-style-type: none"> ・筆者が主張する科学と技術の違いを対比的に整理・理解した上で、現状の科学と技術の関係に対する自分の意見を書く。 ・文章から主張と論拠を読み取り、表現の仕方を工夫して自分の考えをまとめようとしている。 		○	○
	11	理解編 一思考力、判断力を培う4	「現代の『世論操作』」林香里	<ul style="list-style-type: none"> ・情報操作の具体例を通して筆者が提起する課題を表現に着目しながら読み取る。 ・本文中に登場する主な常用漢字や語句・語彙、また文章の効果的な組立て方や接続の仕方について、その構造や特色などを理解している。 	○		
	12	理解編 一思考力、判断力を培う4	〔推論〕「AIは哲学できるか」 森岡正博	<ul style="list-style-type: none"> ・個別の情報と一般化された情報、推論の仕方など、情報の扱い方について理解する。 ・推論によって結論を導く論の展開を把握し、AIは哲学できるかについての筆者の考えを理解する。 		○	
第3学期	1	理解編 一思考力、判断力を培う5	「不均衡な時間」 内山節	<ul style="list-style-type: none"> ・具体的事例から一般論への展開と、対比の構造とを手がかりとして、近代化と時間の合理性との関係を理解する。 ・対比による推論を叙述を基に理解し、学習課題に従って要旨をまとめようとしている。 		○	○
	2	理解編 一思考力、判断力を培う5	「ロビンソン的人間と自然」 村岡晋一	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の考えや事柄を的確に伝え、読み手の理解が得られるよう、文章の構成や展開、表現の仕方を工夫する。 ・「ロビンソン・クルーソー」を例として取り上げた筆者の意図を理解したうえで、主張を把握している。 		○	○
	3	表現編一伝える力を培う 話して伝える	スピーチで自分を伝える	<ul style="list-style-type: none"> ・話し言葉の特徴を踏まえて話したりするなど、相手の理解が得られるように表現を工夫している。 ・進んで材料を集めたり吟味したりし、今までの学習を生かしてスピーチを行おうとしている。 		○	○
		表現編一伝える力を培う 書いて伝える	スピーチで自分を伝える 地域の魅力を紹介する	<ul style="list-style-type: none"> ・書き言葉の特徴、表現の特色を踏まえ、分かりやすさなどに配慮した表現について理解を深め使っている。 ・教科書の例を参考に、説明や表現の仕方を工夫して、積極的に紹介文を書くようとしている。 	○		○